

Essential competencies
for the
100-year life

人生100年 時代の 社会人基礎力

なぜ今「人生100年時代の社会人基礎力」が必要？

「人生100年時代」の到来で、人生における時間の使い方が大きく変わろうとしています。

今までの人生80年として考えられていた時代から、人生を過ごす時間が20年増えたことで、

教育→仕事→老後という従来型の人生モデルが機能しづらくなりました。

そのような環境では1人ひとりが、人生をどう過ごしていきたいかを見つめ直し、キャリアを再設計することが必要になってきます。

社会に出た後でも時代の変化に対して対応しながら、働くことや学ぶことについて考え直す機会を持ち、

仕事と学びを循環させていくキャリア設計を作っていく、社会人としての新しい基礎力を身につけることが重要になってきます。

経済産業省では、この度10年ぶりに「社会人基礎力」を見直し、これからの人生を生き抜くための
「人生100年時代の社会人基礎力」として改訂し、その普及啓発を推進していくことを目指していきます。

詳しくは

社会人基礎力

検索



人材室
Facebook



「人生100年時代の社会人基礎力」の概念

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



「社会人基礎力」の定義 (3つの能力・12の能力要素)

平成18年1月に経済産業省が主催した産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授(当時))により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(=3つの能力・12の能力要素)」として定義。

前に踏み出す力(アクション)

一歩前に踏み出し、
失敗しても粘り強く取り組む力

- [主体性]** 物事に進んで取り組む力
- [実行力]** 目的を設定し確実に行動する力
- [働きかけ力]** 他人に働きかけ巻き込む力

考え抜く力(シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力

- [課題発見力]** 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- [計画力]** 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- [創造力]** 新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

- [発信力]** 自分の意見をわかりやすく伝える力
- [傾聴力]** 相手の意見を丁寧に聴く力
- [柔軟性]** 意見の違いや立場の違いを理解する力
- [状況把握力]** 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- [規律性]** 社会のルールや人との約束を守る力
- [ストレスコントロール力]** ストレスの発生源に対応する力

「人生100年時代の社会人基礎力」の「気づき」の設定

個々人がキャリアオーナーシップにもとづき、自らが持つ・持たざる能力や体験をリフレクション(振り返り)するため、ライフステージの各段階で意識することが求められる“問い”を示すことが有用。

| | 就学前教育 幼稚園教育要領 保育所保育指針 | 初等中等教育 学習指導要領 | 高等教育 大学設置基準等 | 教育と社会との関係の接続(これまでの重点) | 新人 社会人 社会人基礎力 (2006) | 中堅 社会人 | 中高年 社会人 |
|----------------------|---|---|-------------------------------|-----------------------|---|--|---|
| 何を学ぶか 【学び】 | ・学びに向かう力がついているか | ・主体的に自己を発揮しながら学びに向かう態度はついているか | ・どんな専門分野を修めて社会で活躍するための礎とするか | | ・自らが付加価値を生み出すための学びはなにか ・学びの広さや深さを得られるか | ・強みを伸ばし、弱みを克服する学びはなにか ・社会や技術の変化に対応するための学びはなにか | ・持続的に活躍し続けるために必要な学びはなにか ・経験等を引き継ぐための学びはなにか |
| どのように学ぶか 【統合】 | ・大人との触れ合いは十分か ・他者との関わりは十分か | ・学校種間の連携や交流は十分か ・共に尊重し合いながら協働して生活していく態度はついているか | ・年代、地域、文化などを越えた多様な人と関わっているか | | ・多様な人と出会い、視野を広く持ち、多様な機会を得ているか | ・多様な人との関係性を構築し、価値の創出に向けて組み合わせられているか | ・多様な人との関係性を活用し、活躍の場や活動の領域をこれまでより広げているか |
| どう活躍するか 【目的】 | ・よりよい生活を営もうとしているか | ・自分のよさや可能性を認識しているか | ・得手不得手を踏まえて、企業・社会とどのように関わりたいか | | ・組織や家庭との関係でどんな自分でありたいか | ・自己実現するためにどのような行動が必要か | ・これまでの経験を踏まえ自らが社会に提供できる価値はなにか |
| 3つの能力 12の能力 要素 | リフレクション(振り返り) | | | | リフレクション(振り返り) | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学び ・キャリア教育の充実 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な経験の積み重ね ・リフレクションと多様なフィードバックの積み重ね | | |
| | 教育や体験活動を通じた育成/育成の支援 | | | | 仕事や地域での実践を通じた深化/研鑽環境の整備 | | |